

ひょうりゅうがたかいようきしょう
漂流型海洋気象ブイロボットは、海を漂流しながら、気圧や海面水温、波の高さ
などを観測しています。1台で3か月程度の間、続けて海の状況をしらべています。

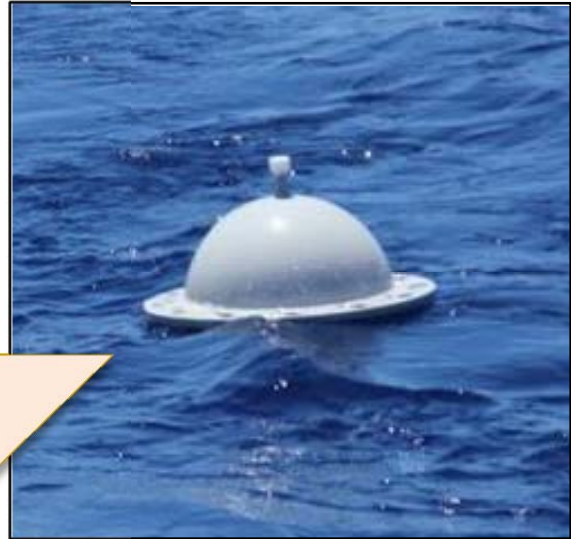
*重さと大きさ

やく ちよっけいやく
約30kg 直径約60cm

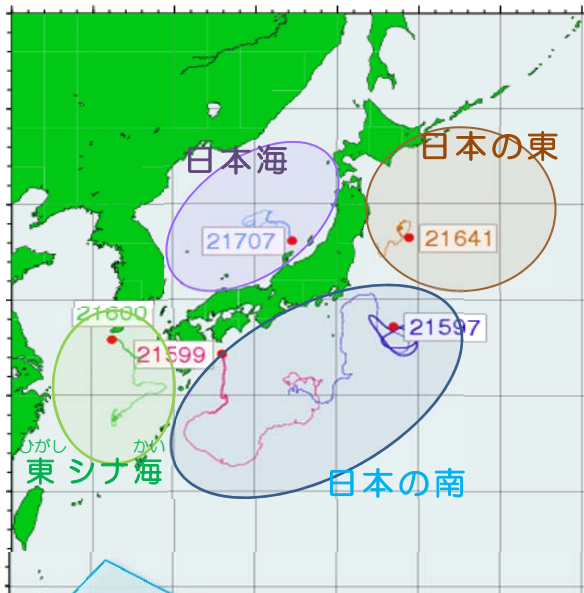
*データの観測間隔

かんそくかんかく
ふだんは3時間ごと
波が高い時は1時間ごと

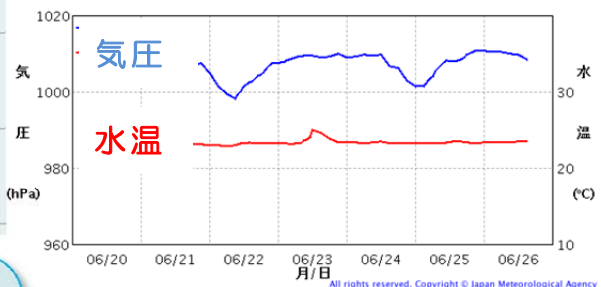
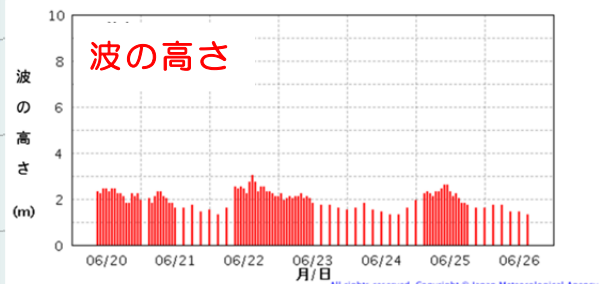
*衛星回線を使ってデータを 送信します



気象庁では、日本のまわりの4つの海域（日本の東、日本の南、東シナ海、日本海）で、一年をつうじてブイロボットを使った観測をしています。



ブイロボットによる観測データ



2013年6月10日の様子

- 日本海 1個
 - 日本の東 1個
 - 日本の南 2個
 - 東シナ海 1個
- 5つのブイロボットが観測中

データは気象庁ホームページで見られます。

<http://www.jma.go.jp/jp/wave/>